

学校法人薫英学園の平成 24 年 4 月に向けた新構想について

学校法人薫英学園は、昭和 6 年の薫英女子学院の設立以来、建学の精神である「敬・信・愛」に基づき、人を尊敬し、信頼し、愛するとともに、人からも尊敬され、信頼され、愛される人間を育成し、実社会において、より良い人間関係を築く能力の養成を実践してまいりました。

本年度、学園は創立 80 周年を迎えますが、これを機に更なる一步を踏み出すため、法人傘下にある大阪人間科学大学と大阪薫英女子短期大学を発展的に統合し、平成 24 年 4 月に向け、大阪人間科学大学 人間科学部にある現行の社会福祉学科、健康心理学科の 2 学科に加え、新たに「医療福祉学科」「子ども福祉学科」「医療心理学科」の 3 学科を設置する構想を進めております。

ここでは、大阪人間科学大学の教育目標である「人間性豊かな幅広い知識を持った専門職業人の育成」を「課題解決能力と対人サービスの専門知識・技術を持つ人間味豊かな人材の育成」と定義し、設置構想中の新学科では「視能訓練士」「保育士」「幼稚園教諭 1 種」「言語聴覚士」といった人材育成のためのカリキュラムを展開することとしています。

これに伴い、現在の大阪人間科学大学 人間科学部 環境・建築デザイン学科及び大阪薫英女子短期大学は、平成 24 年度以降の学生募集を停止することといたしますが、在学生並びに平成 23 年 4 月に入学した学生の修学環境は決して損ねることなく、教育指導や進路支援など、卒業に至る学生生活のあらゆる面において維持してまいります。

また、これまでの卒業生につきましても、各種証明書の交付など諸手続に関し、支障を生ずることがないように対処してまいりますので、ご安心いただきたいと存じます。

なお、この度の改革の中では、大阪薫英女子短期大学が行ってきた 2 年間の保育者養成を、設置構想中の「子ども福祉学科」に移行し、4 年間の保育者養成へと充実発展させることとしています。これまで長年にわたり実践してまいりました「乳幼児の保育・教育を追究する基本的能力と実践力を養い、地域に貢献できる子育て支援を視野に入れた保育者養成」の考え方を継承しながら、2 年間養成では達成が困難であった「相談援助技術を持った地域支援のできる保育者養成」の実現と、子ども、保護者、家庭及び地域を支援することのできる能力と技能を持ち合わせた高度の専門性を持つ保育者の養成を行っていく所存です。

平成 24 年 4 月以降、大阪人間科学大学は、5 学科構成の新たな体制の下で、「自立と共生の心を培う人間教育」、「学士課程教育の重視」、「地域社会への貢献」を自ら実践するとともに、学生に対する面倒見の良さを通して「やさしさ」を社会に広めていく力を養うための、オンリーワンの教育環境を提供してまいります。

在学生・卒業生及び保護者の皆様、その他学校関係者並びに地域の皆様におかれましては引き続き、学校法人薫英学園並びに大阪人間科学大学に対しご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

平成 23 年 4 月 26 日

学校法人 薫英学園
大阪人間科学大学
大阪薫英女子短期大学
学長 齊藤 公男